

介護人材状況調査の結果について

1. 調査の目的

今後の介護分野における人材確保施策の検討のため、酒田市独自で調査を実施

2. 調査対象者

酒田市内に所在する介護サービス提供事業者 244か所

3. 調査方法

令和3年8月に各事業者へメールで調査票を送付し、9月にメールで回答

4. 回答率

202事業者（82.8%）

5. 調査結果

(1) 介護職員数

正職員数	1,663人	非正規職員数	698人	合計	2,361人
------	--------	--------	------	----	--------

※主なサービス別介護職員数

- ①訪問介護 343人（内、非正規 119人）
- ②通所介護 474人（内、非正規 197人）
- ③認知症対応型共同生活介護 173人（内、非正規 71人）
- ④介護老人福祉施設 289人（内、非正規 79人）
- ⑤介護老人保健施設 176人（内、非正規 24人）

(2) 介護職員の年齢別構成

60歳以上	567人	50～59歳	541人	40～49歳	565人
30～39歳	407人	20～29歳	268人	19歳以下	13人
合計	2,361人				

(3) 介護職員の男女別

男性	619人	女性	1,742人	合計	2,361人
----	------	----	--------	----	--------

(4) 介護職員数の状況

①令和3年8月1日時点の職員不足者数

正職員数	87人	非正規職員数	33人	合計	120人
------	-----	--------	-----	----	------

※主なサービス別職員不足者数

- ①訪問介護 39人（内、非正規 14人）
- ②通所介護 35人（内、非正規 12人）
- ③認知症対応型共同生活介護 5人（内、非正規 3人）
- ④介護老人福祉施設 8人（内、非正規 0人）
- ⑤介護老人保健施設 11人（内、非正規 0人）

②過去3年の正規職員の退職者数

平成30年度	176人	令和元年度	153人	令和2年度	196人
--------	------	-------	------	-------	------

※主なサービス別退職者数

- ①訪問介護 45人 ②通所介護 64人 ③認知症対応型共同生活介護 18人
 ④介護老人福祉施設 58人 ⑤介護老人保健施設 70人

③今後5年の正規職員の新規採用予定者数及び退職予定者数

(ア) 新規採用予定者数 (採用したい人数)

令和4年度	111人	令和5年度	100人	令和6年度	97人
令和7年度	88人	令和8年度	93人	合計	489人

(イ) 退職予定者数

令和4年度	70人	令和5年度	67人	令和6年度	74人
令和7年度	66人	令和8年度	64人	合計	341人

④今後5年の非正規職員の契約更新による新規採用予定者数・雇用継続者数・及び契約満了による退職予定者数

(ア) 新規採用予定者数 (採用したい人数)

令和4年度	59人	令和5年度	47人	令和6年度	47人
令和7年度	45人	令和8年度	44人	合計	242人

(イ) 退職予定者数

令和4年度	44人	令和5年度	40人	令和6年度	37人
令和7年度	37人	令和8年度	44人	合計	202人

⑤令和8年度時点における不足者数 (見込)

正職員数	112人	非正規職員数	65人	合計	177人
------	------	--------	-----	----	------

※主なサービス別職員不足者数

- ①訪問介護 42人 (内、非正規 24人) ②通所介護 32人 (内、非正規 21人)
 ③認知症対応型共同生活介護 12人 (内、非正規 3人)
 ④介護老人福祉施設 15人 (内、非正規 4人)
 ⑤介護老人保健施設 21人 (内、非正規 0人)

6. 今後の検討施策

◆介護補助業務の担い手を創出し、介護職員の負担軽減を図るとともに、シニア世代の社会参加を促す。

→ 介護補助業務の担い手を必要とする介護事業所と就労や社会参加に意欲のあるシニア世代とをコーディネートする。現在、事業所のニーズ調査とシニア世代の意識調査を実施している。

- ◆介護の現場において、介護ロボットやＩＣＴ等を活用した業務の効率化等に取り組んでいる優良事例を「酒田市介護サービス事業者連絡協議会」の各部会で情報交換や共有化を図る。
- ◆介護ロボットや見守りセンサーの導入、介護記録や請求業務へのＩＣＴ導入等に支援を行う「地域医療介護総合確保基金」（県に設置）の活用を促す。
- ◆県と連携を図り、外国人介護人材の受け入れの制度を周知していく。